

下水汚泥バイオマス固形燃料による化石燃料代替(E005)

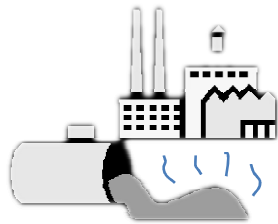
【プロジェクト概要】

公共下水道終末処理場から発生する汚泥を脱水・造粒乾燥、あるいは炭化させて固形燃料を生成し、石炭ボイラーや石炭火力発電所等の燃焼施設の補助燃料として利用することで、化石燃料の燃焼に伴う温室効果ガスの排出量を削減する

【プロジェクトの適格性基準】

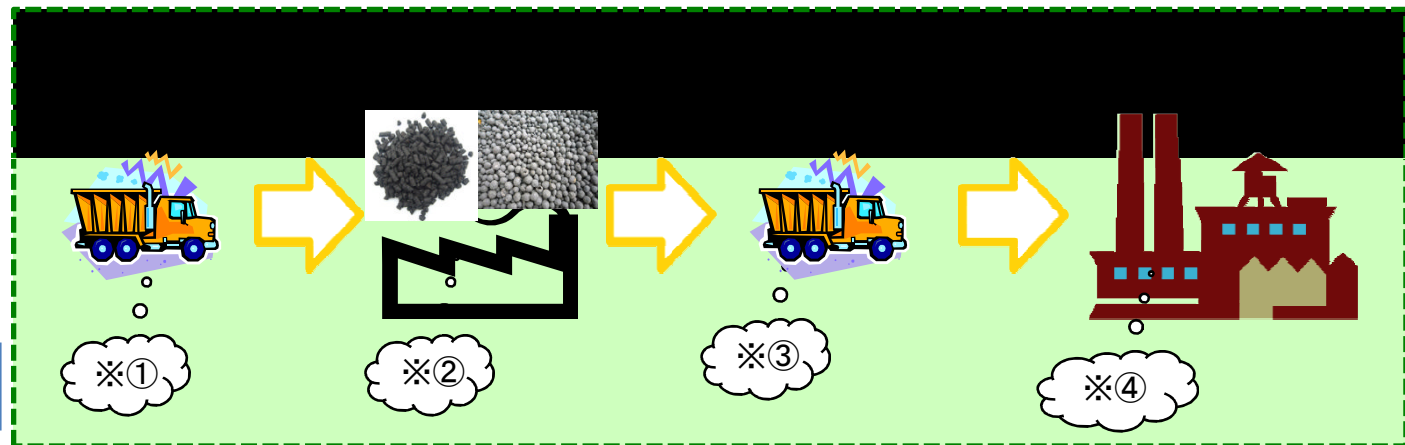
- 条件1. バイオマス固形燃料の原料は、未利用あるいは消化ガス回収ののち未利用の下水汚泥であること
- 条件2. バイオマス固形燃料は、炭化固形燃料か乾燥固形燃料のいずれかであること
- 条件3. 代替の対象となる燃焼施設の燃料は、化石燃料であること
- 条件4. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

<下水汚泥の収集>



未利用か消化ガス回収後の未利用の下水汚泥

排出削減量の算定で考慮する範囲



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ①下水汚泥の運搬に伴う排出(運搬車両の軽油等消費量又は平均燃費・走行距離)
※県内の運搬に伴う排出は算定対象外としてよい
- ②下水汚泥の造粒乾燥／炭化処理に伴う排出(乾燥・炭化工程で使用される化石燃料・電力等消費量)
- ③バイオマス固形燃料の運搬に伴う排出(①と同様)
- ④代替される化石燃料の燃焼に伴う排出(ボイラーで消費されたバイオマス固形燃料の重量・含水率・単位発熱量)